

ひょうご

職親会だより

2015. 8 第35号

※ 職親会(兵庫県精神保健職親会)は、精神障害者の就労を支援する事業主の会です。

【目次】

- 《報告 ①》平成27年度兵庫県精神保健職親会総会報告 …… P 1
 - 平成26年度事業・決算報告
 - 平成27年度事業・予算計画
 - 役員改選
 - 兵庫県精神保健職親会新名称について
- 《報告 ②》講演会「働き続ける」を支えよう! …… P 5
- 《職場探訪》株式会社新栄 …… P 7
- 《報告 ③》全国精神保健職親会研究会「精神障害者雇用のノウハウを学ぶ」に参加して… P 8

報告
1

平成27年度兵庫県精神保健職親会総会報告

6月30日、平成27年度の総会を開催し、26年度の事業・決算報告、27年度の事業・予算計画、役員改選について承認を受けました。

●平成26年度事業報告

事業名	年月日	場所	内容
総会	26. 6.14(土)	兵庫県こころのケアセンター	○兵庫県精神保健職親会総会 ・事業報告及び事業計画
職親会研修会等の開催	26. 6.14(土)	兵庫県こころのケアセンター	○兵庫県精神保健職親会講演会 参加者：74名 ・実践発表「歌うカウボーイの挑戦～畜産・農業で働く力を育てる～」 西村牧場 NPO法人レムナント・残りの宝 理事長 西村 厚一 氏 ・講演「IPSアプローチ～IPSからみた実習制度の意義を探る～」 社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会桜ヶ丘記念病院 精神保健福祉士／第1号職場適応援助者 中原 さとみ 氏

	26.10.22(水)	姫路・西はりま地場産業センター	<p>○兵庫県精神保健職親会地域研修会 参加者：75名</p> <p>・実践発表「働く当事者のつながり～同僚による学び合い、支え合い～」</p> <p>有限会社サポートセンターれいめい 代表取締役 野村 浩之 氏 坂田 泰智 氏 安井 愛華 氏</p> <p>・講演「精神科医療の視点からみたピアの意味」 医療法人内海慈仁会姫路北病院 院長 西野 直樹 氏</p> <p>・実践発表「ピア・ジョブコーチによる就労支援」 社会福祉法人おあしす福祉会 理事 石川 英五郎 氏 ピア・ジョブコーチ 大滝 亮二 氏</p>
役員会	26.5.15(木)	精神保健福祉センター	<p>○第1回兵庫県精神保健職親会役員会 参加者：17名</p> <p>【議事】</p> <p>・平成25年度事業報告・決算報告</p> <p>・平成26年度事業計画(案)・予算(案)</p> <p>・平成26年度総会・講演会について</p>
	26.10.3(金)	精神保健福祉センター	<p>○第2回兵庫県精神保健職親会役員会 参加者：15名</p> <p>【議事】</p> <p>・地域研修会について</p> <p>・全国精神障害者就労支援事業所連合会への協力等について</p>
広報・普及	26.9	・ひょうご職親会だより 第33号 2,500部 職親会会員・賛助会員、健康福祉事務所、ハローワーク、社会福祉協議会等約450箇所に配布	
	27.2	・ひょうご職親会だより 第34号 2,500部 職親会会員・賛助会員、健康福祉事務所、ハローワーク、社会福祉協議会等約450箇所に配布	
他機関との連携・協力	26.6.5(木)	兵庫県中央労働センター	○第1回兵庫県障害者雇用・就業支援ネットワーク会議 (野村会長出席)
	26.10.23(木)	兵庫県福祉センター	○第6回スウィーツ甲子園兵庫大会 (野村会長出席・後援)
	26.11.21(金)	グリーンアリーナ神戸	○第8回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 (後援・寄附)
	26.12.6(土)	エスタシオン・デ・神戸	○第6回スウィーツ甲子園関西大会 (後援)
全国精神障害者就労支援事業所連合会への協力	26.6.21(土)	JSN新大阪アネックス会議室	全国精神障害者就労支援事業所連合会総会 (野村会長出席)
	27.2.14(土)	新大阪丸ビル別館	第26回全国精神保健職親研究会 (三木監事出席)

平成26年度 決算報告

(収入の部)

(単位：円)

区 分	項 目	決算額	摘 要
事業収入		663,870	
	会費収入	50,870	3,000×17□ (振込料金△130 1□)
	賛助会費収入(団体)	51,000	3,000×17□
	賛助会費収入(個人)	62,000	1,000×62□
	委託費	500,000	兵庫県 500,000円
事業外収入		112	
	雑収入	112	預金利息等
小 計		663,982	
繰越金	前期繰越金	511,125	前年度から
計	(A)	1,175,107	

(支出の部)

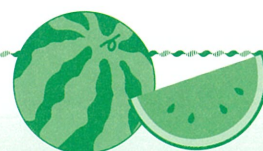
(単位：円)

区 分	項 目	決算額	摘 要
事業費		396,790	
	普及啓発費	180,144	情報誌「ひょうご職親会だより」発行
	講演会費	211,666	講師謝金、旅費、会場使用料等
	研修会費	4,980	研修会参加費、旅費
運営費		202,755	
	役員会費	25,860	旅費
	事務費	164,151	用紙等の各種消耗品、郵送費(たより、研修案内等)等
	需用費	12,744	封筒印刷等
分担金	分担金	20,080	全国精神障害者就労支援事業所連合会団体会費
小 計 (B)		619,625	
繰越金	次年度繰越金	555,482	次年度に繰越(A) - (B)
計		1,175,107	

職親会の活動費は、会費・賛助会費、県委託費によって賄われています。

平成26年度は収入663,982円に対し、支出は619,625円でした。主な支出は講演会・研修会の開催、機関誌「職親会だより」の発行などでした。

平成27年度は、事業収入を670,000円、事業外収入を100円と見積もっています。それに平成26年度繰越金555,482円を加え、1,225,582円の予算となっています。



平成27年度事業計画

- 1 定期総会及び講演会の開催（平成27年6月30日）
- 2 地域研修会の開催
- 3 役員会の開催（年2回）※第1回役員会は平成27年5月27日に開催
- 4 『ひょうご職親会だより』の発行（年2回）
- 5 会員の拡充
- 6 NPO法人全国精神障害者就労支援事業所連合会（全国職親会）への参加及び連携
- 7 各種関係機関との連携・協力

役員改選

職親会創立以来、役員として長年ご尽力いただいた西村稜威雄顧問と高嶋秀忠理事がこの度ご退任されることとなりました。西村さん、高嶋さん、今まで本当にありがとうございました。今年度から下記の通り8名体制となります。みなさん、今後ともよろしくお願ひします。

役職	地区	氏名	事業所名
相談役	加古川市	森本 稔	株式会社サウンドスパイス
会長	姫路市	野村 浩之	有限会社サポートセンターれいめい
副会長	神戸市西区	石井 建三	イシイメディカルサービス株式会社
副会長	三田市	東前 弥生	社会福祉法人三翠会
理事	尼崎市	中村 大蔵	社会福祉法人阪神共同福祉会
理事	小野市	西村 厚一	西村牧場
監事	たつの市	宮崎 宏興	特定非営利活動法人いねいふる
監事	姫路市	三木 章弘	一般社団法人わーくわくねっと

兵庫県精神保健職親会新名称について

今年の5月27日に平成27年度第1回精神保健職親会役員会が行われました。その中で、「兵庫県精神保健職親会」という名称について、出席者から、「関係者から『しょくしんかい』と呼ばれる」、「『何をしているところかわかりづらい』と言われる」、「『親でないと入れないのか』と問われたことがある」などの意見がありました。

そこで、兵庫県精神保健職親会は、関係者に広く知っていただき活動に賛同いただくために、その活動がわかりやすい名称に変更することとなりました。会員様にアンケートにてご意見をお聞きし、多数の支持があった名称を、平成28年度からの新名称とさせていただきます。なお、新名称は平成28年度の総会で発表します。

講演会「働き続ける」を支えよう!

総会後の講演会ではNPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク理事長 田川精二氏と有限会社奥進システム代表取締役 奥脇学氏を講師にお招きし、就労定着支援についてご講演いただきました。

「就労定着支援のネットワーク強化に向けて」 ～就労・医療・生活の面から～

NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク(JSN)理事長

くすの木クリニック院長

田川 精二 氏



- ◆ハローワークにおける障害者の就職件数について、三障害でみると精神障害者は平成22年度に知的障害者を上回り、平成25年度には、身体障害者を越え、最も多い就職件数となった。しかし、平成25年度、精神障害者で新たに就職をした人は約29,000人であるのに、平成25年と26年の就労状況（各年6月1日現在）を比較すると、精神障害者で就労をしている人は約6,000人しか増加していない。つまり就職をした人が、約5分の1しか残っていないということになり、それだけ精神障害者の就労は「継続」が課題ということである。
- ◆なぜ一開業医が就労支援をすることになったかということ、仕事をしたいと強く希望する患者が大勢いたから。しかし支援体制がなく、このままだと身体障害者、知的障害者の就労状況から大きく取り残されてしまう可能性が大きかった。そこで、大阪の精神科診療所協会の中で、数カ所で協力して就労支援事業を展開することとなった。
- ◆JSNの利用条件は、「働きたい」という強い意欲・精神科医療の継続・週三日以上朝から通所すること・3点セット(本人アンケート、主治医意見書、支援者アンケート)・障害開示での就職(精神障害者手帳の所持)である。トレーニングの流れは ①基礎訓練(所内作業) ②企業実習 ③求職活動 ④就労前実習となっている。2007年から2015年3月までのおよそ8年間に246名が就職しており、職業生活継続率はおよそ8割弱であった。
- ◆医師は直接利用者と面接等はせず、スタッフの相談役など後方支援に徹している。スタッフには迷いなく思い切り支援してほしい。またJSNのスタッフは半分以上が一般企業就労の経験者。企業は経営をしないといけないので、そういった企業の常識を支援者がわかっていないと支援はうまくいかない。企業が望んでいることは①休まないこと(ちょっとしんどいから休みますは通用しない) ②決められた時間の出勤、決められた仕事をする(報告、連絡、相談などの職業準備性) ③ゆっくり、少しずつで良いからレベルアップすること。

◆JSN5周年・企業アンケートの結果報告(2012年5月実施)

- JSNメンバーを雇用した企業の半数は精神障害者の雇用義務がない従業員数55人以下の企業。
- 精神障害者を雇用してよかったという企業は4分の3。(←しっかりとした支援の結果!)
- 雇用して「戦力になった」と答えた企業は41社中30社もいた。
(戦力にならない人を雇い続けられるわけがない。また働く側も、お情けで雇われていては続けられない。)
- 企業が望む支援で最も多いのは「就労後、調子を崩したときの支援」
- 離職理由で最も多いのは緊急雇用施策関係の期限付き雇用での「期間満了」だった。続いて「モチベーションの低下」、「転職・スキルアップ」、「職場の問題」となっている。(「病氣」を理由に離職した方は、離職者30名中3名で、全体の1割だった。)
- 離職後の経過で、再トレーニングを経て再就職をした方は9名(27%)いた。再トレーニング中、独自に就職活動をされている方をあわせると離職者の57%が再就職あるいは再就職に向けて活動中。(気持ちがあれば何度でもトライできる!)
- 主治医アンケートによれば、2年以上就労継続されている方は、そうでない方に比べ、ご自身の病氣、障害をよりよく理解していることがわかった。

- ◆もはや就職者数を自慢する時代ではない。いかに働き続けることができるかがこれからの課題。一度きりの人生、豊かに生きたいと思うことは当たり前。仕事は金儲けのためだけじゃない。仕事で得られるものはたくさんある。それは患者さんも同じ。「働きたい」という気持ちとしっかりとした支援さえあれば働ける。

「働きやすい職場を目指した取り組み」

～SPIS(就労定着支援システム)を活用して～

有限会社奥進システム

代表取締役

奥脇 学 氏

- ◆ まずは少しかけ会社紹介。業務管理のシステム開発会社をしており、WEB技術に特化している。社員7名で、うち重度身体障がい者3名、精神障がい者2名（非定型精神病、統合失調症）、1人親家庭の母親が1名。基本理念は、私たちと私たちに関わる人たちが、とてもしあわせと思える社会づくりを目指すこと。

働きやすい職場への取り組み

◆ 就業規則

- 労働基準法を守って柔軟な働き方ができるようにする。短時間勤務は最初から導入している。精神障がい者は、週40時間働くということが難しい方もいる。1ヶ月単位で申告があれば週30時間にするなど、柔軟に対応している。また最近では時間有給制度も導入した。



◆ 集中できる職場づくり

- 在宅勤務…WEB技術に特化しており、インターネットさえあれば仕事ができるので在宅勤務も導入している。
- 30分ルール…もし考えが煮詰まってから30分経過したら、自分の力ではできないと判断して、他の人に聞かか別の作業をしようとして伝える。30分たったら聞けるという安心感があるという。
- 定時的な休憩時間と残業ゼロ…特に精神障がい者の方は残業をしてはいけないと言っている。

◆ しんどい部分の切り捨て

- 仕事の細分化と適職探索。プロセス分析をして自分ができることとできないことを切り分ける。
- 効率よい仕事の出し方
気分の変調があり、仕事の見通しがたないと不安になる方には、1週間分の仕事を一気に与えず、1日単位で区切って渡すようにしている。また全体がわからないと不安になる方には、全体の説明をして今ここをやっていると伝える。しんどい部分は何かというのを常に考えている。それが「SPIS」につながった。

SPIS(エスピス)について

精神障がいや発達障がいの方、お休みから復職した方などの職場での状態を把握しやすくし、声かけなどコミュニケーションを促進するツール。2012年7月に提供開始。

◆ きっかけと経緯

- 10～20年精神障がい者を雇用している方でも、「精神障がい者は突然休まれたりするので対応しにくい」と言われていた。また、これから精神障がい者を雇おうとしていた企業の方に、「うちは精神は無理かな」と言われた。僕たちがなんとかしないとイケないのではないかと思った。

◆ SPISとはどんなものか

- 自分の状態を毎日記録し、それをグラフ化するシステム。
- 状態の項目は個人で自由に設定できる。
- 蓄積された日報データを分析することで、その人の調子が上下する傾向をつかむ手立てとなる。

◆ 予想される効果

- 支援する人（同僚、上司など）が、当事者の状態を把握するきっかけになる。←1番の目的！
- 当事者の自己理解が深まる。
- 今課題となっている当事者、会社、医療福祉の連携においても、SPISをコミュニケーション媒体として利用することで、状態が安定する。

働き続けるには？

企業は仕事をするところなので、どうしてもケアは優先順位が下がる。言われたことは対応するが、それ以上はどこまでできるか。会社にも汲み取る力が必要で、支援者にも伝える力が必要。みなさんと協力していきたい。

《全国精神障害者就労支援事業所連合会 事務局 三原 卓司氏より》

全国精神障害者就労支援事業所連合会では、「SPIS」の普及活動を実施しています。「SPIS」導入のトライアル期間は平成27年12月までとなっていますので、企業、支援者の方で興味のある方は全国精神障害者就労支援事業所連合会事務局三原までご連絡ください。

全国精神障害者就労支援事業所連合会事務局（JSN地域・企業連携事業部内）

TEL06-6307-1616

今回は、就労定着支援システムSPISを実際に使われている大阪府吹田市にある株式会社新栄さんにお邪魔し、チーフマネージャーの廣川豊美さん、トレーナーの八木芳延さん、エンジニアの西澤恭平さんに職場での取り組み、SPISのご感想を聞かせていただきました。（八木さんは身体障害を、西澤さんは精神障害をお持ちで、八木さんは西澤さんの社内支援をされています。）

▶簡単に会社の概要を教えてください。

廣川さん 従業員数は5名のうち障害者が3名。あとパートの方1人と私。（同じフロアに別会社があり全員で8名いる）

業務内容は食品の卸業と販売。具体的にはアメリカからミネラル液を輸入販売し、水の販売やご飯をおいしく炊く技術を飲食店に指導したりしています。

▶なぜ障害者の方を雇われようと思ったのですか？

廣川さん ボトルを洗うのに時間が足りないのでアルバイトを雇おうとしたんです。そのアルバイトを紹介してくれたのがたまたま福祉関係の方で、社会適応訓練事業を紹介してくれました。

障害者のことはわからなかったけれど、働いてくれるならと思って。それが4年前です。

▶SPISを使おうとしたきっかけは？

廣川さん 自分たちは専門職ではない。病気は良いときも悪いときもあり、本人が言っていることがすべてではない。その見えない部分を量れるのがSPISだと思いました。

▶実際に使ってみてどうでしたか？

廣川さん 今まで八木さんとは相談できなかったが、SPISを使ってから周りの人が気を遣ってくれるようになりました。そこからみんなでミーティングができる。コミュニケーションの流れが作られました。

▶西澤さんは今どんな仕事をされていますか？

西澤さん 主にお水の製造をしています。ミネラルを入れる量があるので調整したり、サプリメントのパッケージングをしたり。あとは日本全国の水質調査をしていて、6千ヶ所すべての浄水場がどれくらい浄水しているか水質を調べています。その一項目をエクセルに落とし込んでデータベース化をしています。

▶働く中での楽しさ、しんどさを教えてください。

西澤さん 考えることが好き。自分なりに工夫して試してみたり、自由にさせてもらっているのが楽しい。仕事はだいたいしんどい。でも必ず終わりはあって、その後に達成感が待っている。仕事のしんどさは割り切っている。怒られることもあるけれど、それは直してほしいということで、成長できるということだと思う。自分は実習生をみているが、あまり怒らないけど、成長してほしいという意味で「こうしてみようよ」と言ったりする。

▶SPISがあって良かったと思うことは？

西澤さん 自分の気持ちを口に出して言うのがすごく苦手なので、自分から言えなくてもSPISに書いておくだけでわかってくれていることに安心感もてる。あと自分の気持ちを整理しやすくなりました。

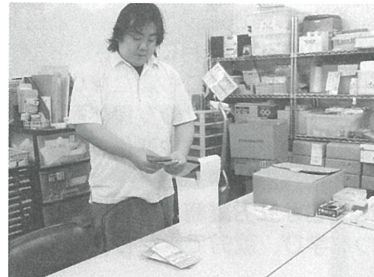
八木さん 出荷等のスケジュールを考えているのですが、疲れがある等SPISから読み取れるので、負担を減らすなど考慮することができます。

▶その他にかメッセージはありますか？

廣川さん 八木さんがよく言うことで、自分は就活で97社受けて全部不採用だったが、その後ここで就職した。ちょっとのことでめげてはいけない、前向きにならないといけない、と。八木さんは取材の依頼はいつも引き受けている。自分が出ることで、就職したいと思ってもらえたらと思っている。

八木さん 実習先が増えたら良いと思う。実習に行けば社員として雇ってもらえるかもしれない。

廣川さん 企業も選ぶけど、実習に行っている人も企業を選びたい。仕事の選択肢が広がるので実習を受け入れてくれる企業が増えたらいいと思います。





全国精神保健職親会研究会「精神障害者雇用のノウハウを学ぶ」に参加して

平成27年2月14日、大阪で開催された上記セミナーに、当会監事である「一般社団法人わーくわくねっと」の三木章弘氏が参加しましたので、ご報告します。

今年も第26回の研究会が2月14日(土) 新大阪・丸ビル別館で開催された。この研究会の案内に「精神障害者就労は、平成30年4月に雇用義務化を控えて、今後ますます増加してくるものと予想されます。しかし、一方で職場定着は半数以上が1年にも満たないと公的報告もあり、これは障害者特性に対する企業の理解が十分進んでいないことや職場定着への企業内での支援体制もほとんど整備されていないことが理由と考えられます。そこで、この研究会で職場定着をめざし、各報告や事例を紹介、グループワークでの情報共有を行う。」とあった。私たちは姫路南駅前で昨年6月、就労移行支援事業所(キャリアサポートセンター姫路・定員12名)を立ち上げた。12月で利用者が10名となり、1月に1名が就労継続A型事業所へ、3月と4月に各1名が一般企業に就職が決まった。今回、事業主側の定着支援ノウハウを学び、就労できた者が長く定着できるよう支援したいとの思いで参加した。

<政策報告：厚生労働省>

講師：障害福祉課 山科 正寿 就労支援専門官

★障害保健施策の動向と題して ①障害者総合支援法 ②第4期障害福祉計画(H27~H29) ③報酬改定等 ④相談支援 ⑤就労支援等について講演があった。なかでも障害者の自立の面から今まで推進してきた「社会適応訓練事業」にとって変わるものとして「施設外就労」「施設外支援」を積極的に活用するよう指導しているとの話があり、心強く思った。就労は所管部署が違うが、就労系事業の就労継続A型が全国で2800事業所に増えてきており、他の関係部署と協力しながら就労の推進にも力を入れていると語られた。

<基調講演>

「精神障害者雇用の現場から

～経営者としての経験と基本的な考え方～」

講師：株式会社大場製作所代表取締役

NPO栗原市障害者就労支援センター理事長 大場 俊孝氏

★自分の会社で働く障がい者の事例と体験を通じた「障がい者雇用のノウハウについて」話された。なかでも東日本大震災で被災された中で、会社経営に大きな影響を受けながらもその危機を乗り越え、引き続き障がい者雇用の拡大を目指して取り組んでおられるとの話に、大きな感動を覚えた。

<事例紹介> 「精神障害者雇用の現場から ～雇用経験と配慮や工夫などの取り組み～」

講師：有限会社奥進システム代表取締役 奥脇 学氏

★精神障がいのある社員が安定して長く働くための「配慮ポイント」「職場の工夫」では、「職場環境を含めた働きやすい職場づくりの取り組みがベースである。」と自社で働く5名の障がい者の具体的な雇用事例を聞かせて頂いた。特に、精神障がいのある人の雇用では様々な戸惑いがあったが、施設・会社・病院等100箇所以上の現場を見学され、「安定して働くためにどのような取組みをされているか」を確認されたとのことで、その熱意に驚かされた。そして、長く働くためには、何よりも「日頃における心身の状態を把握する」ことが大切であると、自社で開発された「就労定着支援システム(SPIS)」で「その人の調子が上下する傾向をつかむことができる」とアピールされたことに強い関心をもった。

その後、参加者がグループに別れ、事業者や施設での障害者雇用の体験談、定着支援の課題等ざっくばらんな話し合いを行い、グループごとに発表会が行われ、研究会を終了した。私は研究会に参加して、学んだことを施設の就労支援活動に取り入れ、就労定着の推進に努めたいとの決意を新たにした。

職親会監事・一般社団法人わーくわくねっと 三木 章弘

☆兵庫県精神保健職親会 会員及び賛助会員 募集中

会 員 (社適事業所に限る) 年会費 3,000円

賛助会員 (団 体) 年会費 3,000円

賛助会員 (個 人) 年会費 1,000円 を募集しております。

☆職親会では『手伝ってください！職場への第一歩』《手引き書(A4冊子)版・リーフレット版》を作っています。就労支援で困った時や啓発にご活用ください。

【事務局】 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2

兵庫県精神保健職親会(兵庫県精神保健福祉センター内)

Tel 078-252-4980 / Fax 078-252-4981

お問い合わせや、ご賛同いただける場合は、事務局までご連絡下さい。